

臨床研究：「がん化学療法に伴う高尿酸血症に対する個別化治療の検討」について

筑波大学附属病院薬剤部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究対象

2009年10月～2025年11月までに当院で抗がん剤治療を受けた患者さん

② 研究期間

倫理委員会承認後～2026年11月30日まで

③ 研究の意義・目的・方法

抗がん剤治療で腫瘍細胞が急速に崩壊することにより高尿酸血症、高リン血症、高カリウム血症が生じることがあり、これらの異常を腫瘍崩壊症候群と呼びます。腫瘍崩壊症候群における高尿酸血症に対しラスブリカーゼやキサンチンオキシダーゼ阻害薬が使用されています。使用される薬剤は腫瘍崩壊症候群の発症リスクから選択されますが、尿酸値の上昇は患者さん毎に異なるため、十分に予防できないことがあります。そこで、我々は抗がん剤治療が行われた患者さんの年齢、身長、体重、疾患、処方薬剤、検査値などを調査して、腫瘍からの尿酸生成量を予測することにより患者さん毎の薬剤選択や投与量の調節を可能にしたいと考えています。

④ 情報の第三者への提供について

共同研究施設へ郵送にて提供します。

⑤ 情報の管理について責任を有する者

代表研究施設：筑波大学附属病院薬剤部 研究責任者：本間 真人

⑥ 共同研究施設名および研究責任者名

共同研究施設：東京薬科大学薬学部 臨床薬効解析学教室 研究責任者：山田 安彦

⑦ 保有する個人情報に関する利用目的

この研究から得られた成績は、まとめて学会や専門雑誌での発表に使用されますが、いずれの場合にも名前や生年月日、住所などの個人が特定できる情報は一切公表されずプライバシーは十分に守られます。

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究に参加を希望されず、情報の利用または提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究成果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：薬剤部 簗原豪人 電話：029-853-7165（平日 8:30～17:15）